

# おサイフの健全性を保つための取り組み

札幌市のまちづくりの方針である

「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2019」での取り組みを紹介。

公共施設や道路などの都市基盤の再整備や子ども・子育て支援など必要とするものには積極的に投資をしていく一方、将来世代に過度な負担を残さない健全な財政運営を進めています。



## ① メリハリの効いたおサイフに

より便利で暮らしやすいまちづくりや子ども・子育て支援など、必要なことには積極的にお金を使います。

4年分のお金の集め方、使い方の計画である中期財政フレームに基づいて、おサイフのやりくりを考えています

3~4ページの令和5年度予算のポイントをもう一度見てみよう!

私たちにもできることを考えて、実行していかなくちゃ。

中期財政フレーム(一般会計)

	令和元年度	2	3	4	期間合計	
歳入	一般財源	5,535億円	5,593億円	5,640億円	5,724億円	2兆2,492億円
	国・道支出金	2,911億円	3,003億円	3,051億円	3,520億円	1兆2,485億円
	市債	552億円	536億円	525億円	559億円	2,172億円
	その他	1,211億円	1,135億円	1,872億円	1,647億円	5,865億円
	基金活用額	18億円	28億円	52億円	166億円	264億円
合計	1兆227億円	1兆295億円	1兆1,140億円	1兆1,616億円	4兆3,278億円	
歳出	義務的経費	5,643億円	5,838億円	5,861億円	5,992億円	2兆3,334億円
	職員費	1,566億円	1,575億円	1,557億円	1,561億円	6,259億円
	公債費	869億円	896億円	890億円	887億円	3,542億円
	扶助費	3,207億円	3,367億円	3,415億円	3,544億円	1兆3,532億円
	他会計繰出金	1,062億円	1,082億円	1,082億円	1,106億円	4,333億円
	建設事業費	1,034億円	1,007億円	1,002億円	1,045億円	4,088億円
その他事業費	2,489億円	2,368億円	3,195億円	3,473億円	1兆1,524億円	
合計	1兆227億円	1兆295億円	1兆1,140億円	1兆1,616億円	4兆3,278億円	

## ② 持続可能なおサイフへ

市民が安心して暮らせる、必要な行政サービスを続けていくために、時代に合った工夫やさまざまな改善などに取り組み、持続可能なおサイフづくりを進めています。

市役所の役割や仕事内容を見直し、より良い仕組みや方法づくりを進めていきます



公共施設マネジメントを進めます  
9~10ページで詳しいことがわかったね。

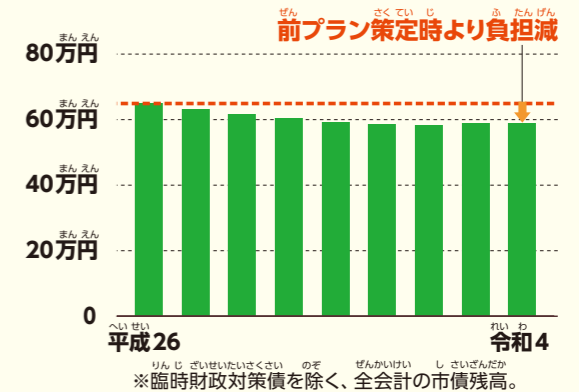
## ③ 将来世代に過度な負担を残さない健全なおサイフへ

子どもたちが大人になった時に負担が大きくなりすぎないように、おサイフの中身をコントロールします。

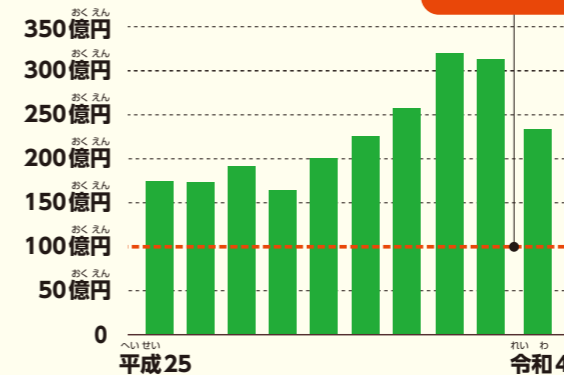
将来的に人口が減っても市民一人あたりの負担額が大きくなりすぎないように、市債残高を適切に管理します



市民一人あたりの市債残高



財政調整基金



市の貯金である財政調整基金が減りすぎないように、収入と支出のバランスを調整します

大雪や災害の時のために市の貯金を少なくとも100億円より減らさないようにしているんだって。



## 今後の取り組みについて

「札幌まちづくり戦略ビジョンアクションプラン2019」は2022年度で終了しました。2023年度中に新しいプランを作り、引き続きお金の使い方や集め方を見直していきます。